

令和4年度 多職種連携研修計画（案）

（1）相互理解の促進（資料6・7・8）

①医療関係者向け研修

- ・形 態：動画研修
- ・日 時：令和4年4月講師依頼，5月原稿作成，6月撮影・動画作成
7月案内・公開予定
- ・対象者：医療関係者 *介護関係者にも案内配布する
- ・テーマ
（案1）認知症等で判断能力が不十分になった方のための支援の仕組みについて
成年後見制度，日常生活自立支援事業など
講 師：未定
（案）函館市成年後見センター，社会福祉士事務所など

- （案2）退院後の在宅生活を送る上での環境整備について
福祉用具貸与，特定福祉用具販売，住宅改修
講 師：未定

（案）福祉用具貸与・特定福祉用具販売事業所

②介護関係者向け研修

- ・形 態：動画研修
- ・日 時：令和4年4月講師依頼，5月原稿作成，6月撮影・動画作成
10月案内・公開予定
- ・対象者：介護関係者 *医療関係者にも案内配布する
- ・テーマ
（案1）薬剤師
居宅サービス（調剤薬局）で行える薬に関する薬剤師の役割
講 師：未定
（案2）言語聴覚士
嚥下機能を踏まえた注意点，リハビリについて
講 師：未定

③オープンカンファレンス

新型コロナウイルスの感染状況をみて，検討

④研修会等コーディネート

各関係者団体へ連絡・確認：6月に確認書類 配布
*医療・介護各関係団体窓口一覧の内容の確認，更新

(2) 連携強化（資料9）

①大規模研修会

- ・日 時：令和4年9月10日（土）14時～17時
- ・場 所：国際ホテル
- ・形 態：シンポジウム，グループワーク
- ・対象者：医療関係者，介護関係者
- ・座 長：函館稜北病院 川口篤也先生
- ・テーマ

（案）8050問題の事例を通じ，多職種連携の必要性を考える
～医療と福祉の連携と協働を強化するために～

目 的

1. 8050問題の実際を知る
2. 8050問題の事例から，多職種連携の必要性を理解する
3. 明日から自職種で何ができるかを考える事ができる

- ・方 法：集合開催

- ・内容

①報告・ディスカッション

（案）8050問題で多職種がどのように連携したかの報告

例）1 ケース：包括→居宅→医師→〇〇→〇〇→〇〇

例）1 ケース：包括→居宅→医師

例）2 ケース：包括（1）／居宅（1）／医師（アドバイザー）

②GW

（案）報告の事例をもとに自職種では何ができるか，連携をとるにはどうしたらいいのかが等を議論してもらい発表してもらう
（講師の方々への質問も含めて）

- ・講 師：未定
- ・代替え案：オンライン形式へ変更

②入退院支援

『はこだて入退院支援連携ガイド』活用促進研修会（退院支援分科会主催）

『入退院支援連携強化研修会』（情報共有ツール作業部会主催）

*新型コロナウイルスの感染状況をみて，各部会・分科会にて開催検討

③急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催）

*新型コロナウイルスの感染状況をみて，開催検討

(3) 多職種連携の専門性の向上

①函館市における多職種連携への理解の促進

- ・出張講座メニューの追加・更新及び各関係団体へ周知・案内の継続

(4) 人材育成

① センター主催研修会への見学参加

- ・市内の医療系・福祉系の教育機関に研修案内・出前講座を継続する
- ・出前講座メニューの追加・更新及び各教育機関への周知・案内の継続